

第7回超高速フォトリクスシンポジウム

主催：情報通信研究機構、東北大学電気通信研究所、早稲田大学、産業技術総合研究所

超高速光技術は情報通信の高度化・省エネルギーや光計測・標準システムの高精度化などの分野でますますその重要性を増しています。本シンポジウムでは、光通信、計測、信号処理から光源、デバイス、物性に至る最新の成果を第一線でご活躍の方々にご講演頂き、超高速フォトリクスの技術動向と今後の展望について紹介します。

日時 2016年12月7日(水) 10:00-17:50

会場 情報通信研究機構 研究本館4階国際会議室

(東京都小金井市貫井北町4-2-1 <http://www.nict.go.jp/about/hq.html>)

プログラム

10:00-10:05	開会挨拶	富田二三彦(NICT)
10:05-10:55	(基調講演)「光コムによる光波の超精密制御とその応用展開」	美濃島薫(電気通信大学; JST; ERATO 美濃島知的光センサイザ)
10:55-11:45	(基調講演)「パワーレーザーのグランドチャレンジ:レーザー一核融合」	疇地宏(大阪大学)
11:45-13:00	昼休み	
13:00-13:30	(招待講演)「10 Tbit/s/ch に向けた超高速光ナイキストパルス伝送」	廣岡俊彦、吉田真人、葛西恵介、中沢正隆(東北大学)
13:30-14:00	(招待講演)「超高速光変調・スイッチ素子の現状と課題」	中島啓幾(早稲田大学・先進理工)
14:00-14:30	(招待講演)「モード同期光ファイバレーザーとその応用」	山下真司、セツ ジイオン(東京大学・先端科学技術研究センター)
14:30-15:00	(招待講演)「400G/1T および超多重度光通信ネットワーク技術の最新動向」	富澤将人、宮本 裕(NTT)
15:00-15:15	休憩	
15:15-15:45	(招待講演)「シリコンフォトリクスの進化」	山田浩治(AIST)
15:45-16:15	(招待講演)「先端フェムト秒レーザーとその応用」	小林洋平(東京大学・物性研究所)
16:15-16:45	(招待講演)「中・短距離通信ネットワークにおける超高速光・無線融合デバイス」	松本 敦、梅沢 俊匡、赤羽 浩一、山本 直克(NICT)
16:45-17:15	(招待講演)「Ultra-High Capacity FM-MCF Transmission using Ultra-Dense SDM/WDM Techniques」	釣谷剛宏、五十嵐浩司、相馬大樹、若山雄太、森田逸郎(KDDI 総研)
17:15-17:45	(招待講演)「面発光レーザーフォトリクスの進展 - 高速変調と機能集積 -」	小山二三夫(東京工業大学・未来産業技術研究所)
17:45-17:50	閉会挨拶	和田尚也(NICT)

※シンポジウム終了後、懇親会を開催致します(参加費:3000円)

講演参加費 無料

参加申込・問合せ先

情報通信研究機構 淡路 祥成 (Tel. 0774-98-6812 E-mail: yossey@nict.go.jp)